

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和4年12月19日実施

事業所名 出雲サンホーム地域福祉サービスセンターソレイユ

		チェック項目	はい	いいえ	どちらともいえない	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5		1		
	2	職員の配置数は適切である	6				・ソレイユホール、児童ホールと仕切りがなく広々としているが、時に行動がバラバラになる事があり、視界から外れる事がある。一つのホール内で過ごせるのが理想だが、現実的に難しいように思う。仕切りがあると良い。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	6				
4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	4		2	・振り返りや支援方法の確認、共有の場を設けている。 ・定期的に支援会議を開催し、振り返りを行いながら個々の支援方法を確認し、次の支援に取り組んでいる。		
業務改善	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5		1		
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6				
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	2	3	1	・保護者にサービス利用のアンケートを実施している。	・第三者評価は導入していない。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6			・コロナ禍において外部に出掛けての研修の参加は難しだが、オンラインでの研修に参加している。 ・オンライン研修の参加等。 ・オンライン研修が殆どだったが、積極的に参加している。 ・コロナ禍にて外部に行く事は出来ないが、必要な研修は視聴している。	
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	6			・ご家族や関係機関にも確認しながら対応している。 ・アセスメント用紙を用いて、ご家族に過ごし様子や取り組んでもらいたい事など伺っている。 ・ご家族や関係機関との情報共有を図りながら、ご本人を主体とした計画書を作成している。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	4		2	・利用児の個性に合わせて、絵カードなど利用している。 ・事業所独自のアセスメントツールを使用している。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	5		1	・計画書のニーズや季節も考慮している。 ・時間を設け、どのような手順で、どのように取り組むか話し合っている。 ・支援会議や話し合いの時間を設け、活動内容の検討を行っている。 ・活動を考える時間を設けてもらい、季節の活動をメインに考え、同じ内容でもパターンを2通りは考え選択してもらっている。	・担当スタッフの中でも主担当が立案しているが、活動の目的までが他スタッフへ波及できていない。

		チェック項目	はい	いいえ	どちらともいえない	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
適切な支援の提供	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6			<ul style="list-style-type: none"> ・個々の特性や状態に応じた活動や他児者との関わりも工夫している。 ・活動を考える時間を設けてもらい、季節の活動をメインに考え、同じ内容でもパターンを2通りは考え選択してもらっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・他の取り組み等、新たな事など情報収集が必要。 ・創作活動ばかりになりがちで、適度に体を動かす取り組みを入れている。障害によって取り組みにくい時はどうするか等、細かく考える必要がある。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	5		1	<ul style="list-style-type: none"> ・タイムスケジュール表を記載し、活動を把握し、見通しが持てるようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・計画を基に個々の目標や課題に応じて支援しているが、事前の打ち合わせがもう少し必要。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	6			<ul style="list-style-type: none"> ・多世代交流が図れる等の特色がある。 ・個々の状態に応じて個別や集団活動等、様々な内容を検討し実施している。 	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	4	1	1	<ul style="list-style-type: none"> ・少しの時間でも、その日の活動内容を打ち合わせている。 ・開始前には、担当職員間で情報共有を図り支援をスタートさせている。 ・その日の状況によっては、直前の確認なる事がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日によって、出来たり出来なかつたりする事がある。 ・ご利用児ごとに活動の進捗状況を把握し、スムーズに活動に入れるようにする。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	4	2		<ul style="list-style-type: none"> ・打ち合わせやノート等で情報共有を行っている。 ・支援終了後には、振り返りを行ったり、共有ノートを活用し共有できるように努めている。 ・共有ノートに情報を記載している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・気になった事や困った事、今後の課題がある時には行っている。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6			<ul style="list-style-type: none"> ・支援目標も立て、月々の評価も行っている。 	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	5	1			
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っている	4		2			
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6				
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	6			<ul style="list-style-type: none"> ・必要時には即連絡し、情報共有に努めている。 ・送迎時間に、学校を情報交換、共有を行っている。 	

	チェック項目	はい	いいえ	どちらともいえない	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	22 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	1	4	1		<ul style="list-style-type: none"> ・経管栄養児以外の、医的ケア児の受け入れは行っていない。 ・必要時、医師を含めた担当者会を行ったり、相談支援専門員を通し情報を得ている。 ・既往歴が入った緊急連絡表があると、既往歴の把握ができる(現在は個人ファイルにしかない)
	23 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	3	1	2		
	24 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	6				<ul style="list-style-type: none"> ・卒後の進路相談や支援会議等にて、情報共有を行っている。 ・提供しているが、引継ぎが上手くいかない時がある。
	25 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	1	3	2	<ul style="list-style-type: none"> ・適宜、協議会への参加や相談支援専門員との連携を図り助言を受けている。 	
	26 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	1	3	2		<ul style="list-style-type: none"> ・交流する環境はあるが、コロナ禍において交流が出来ていない。
	27 (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	3	2	1	<ul style="list-style-type: none"> ・児発管同士の情報交換や、研修に参加している。 	
	28 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6			<ul style="list-style-type: none"> ・送迎時等で情報交換を行っている。 ・お迎え時や連絡帳を活用し、共通理解を図っている。 ・送迎できるご家庭とは直接、移動支援送迎児は連絡帳を活用し情報交換を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・移動支援ご利用児等、情報交換しにくい個別のケースもある。
関係機関や保護者との連携	29 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている		5	1		
	30 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6			<ul style="list-style-type: none"> ・重要事項説明書、契約書、個別支援計画書提示の際等に留意し対応している。 	
	31 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	3	1	2	<ul style="list-style-type: none"> ・相談があった時には対応している。 ・お迎え時等、ご家族とお話し、日頃の情報を得る様にしている。必要時、他事業所とも連携を図り助言を行っている。 	
	32 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		5	1		<ul style="list-style-type: none"> ・事業所主体での保護者会等はないが、保護者同士のつながりがあるケースがある。
保護者への説明責任等	33 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	5	1			<ul style="list-style-type: none"> ・苦情があったか分からない。

		チェック項目	はい	いいえ	どちらともいえない	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	5		1		
	35	個人情報に十分注意している	6				
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6				
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	2	4			<ul style="list-style-type: none"> ・以前より地域との繋がりがりや連携は大切にしているが、コロナ禍での地域の方との繋がりが希薄化しているのが課題。 ・現在は行われていない。 ・コロナ禍において感染予防の為、現在は行っていない。 ・コロナ禍にて殆ど交流が図れていないが、再開に向け準備が必要。 ・保護者には周知が出来ていない。契約時や支援計画説明の際に周知したい。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	4	1	1		<ul style="list-style-type: none"> ・マニュアルは整備しているが、周知出来ているかまでは分からない。 ・施設(職員間)では周知されているが、保護者までは周知されていない。コロナ対策の書面が整備されていると良い。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	4	1	1		<ul style="list-style-type: none"> ・災害時に備えた訓練は行っているが、参加回数は少ないので、非常時に備えた訓練の参加は今後も必要。 ・長期休暇中に日中の訓練はあるが、放課後の時間帯に訓練がない。一人で複数人を対応中には電話にすら出れない事もある。一人が入浴対応中なら、なお避難が難しくなる。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5	1			<ul style="list-style-type: none"> ・研修への参加は限られていので、伝達研修等の活用も大切。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	6			<ul style="list-style-type: none"> ・行う為の指針は整備している。 	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	2	3	1	<ul style="list-style-type: none"> ・指示書の把握まではしていないが、利用開始前に確認している。 ・利用開始前に情報として把握している。必要時、エピペンの使用方法も、スタッフ間で情報共有をしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・医師の指示書があるのか分からない。 ・アレルギーについては把握は出来ている。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6				